



精子の高度検査から手術までを行うクリニック 女性不妊治療施設との連携を推進

エスセットクリニックは、全国でも数少ない男性不妊を専門に診療しているクリニックです。これまでに約7000名の男性不妊患者の診療実績があります。

高精度な精子検査を行っており、妊娠の可能性に関わる「精子の質」について、より詳細な検査を行うことができます。DNAレベルの高精度精子検査と良好な精子の

選別技術で、人工授精・体外受精・顕微授精の成功をサポートしています。

再発防止にこだわった精索静脈瘤手術や無精子症に対するMD-TESE、結婚前のプライダルチェック、EDのご相談にも対応しています。精索静脈瘤の手術実績は、すでに150件以上あります。

無精子症に適応する手術 MD-TESE (顕微鏡下精巣内精子回収法)

無精子症とは、精液中に精子を認めない状態のことをいいます。精子は作られているが精子の通り道に問題が生じている「閉塞性無精子症」と、精巣そのものに精子を作る機能がなく、著しく機能低下が生じている「非閉塞性無精子症」があります。多くの場合、精巣から精子を回収する手術「TESE」を行い、精子が回収できれば顕微授精を行うことができます。

手術は陰嚢を5ミリ～1センチほど切開し、精巣内の精細管という細い組織から採取します。TESEの中でも手術用顕微鏡を用いて行う方法をMD-TESEといいます。閉塞性無精子症の場合には、ほとんどのケースで精子が見つかり、非閉塞性無精子症でも30～40%程度の割合で精子が見つかります。

MD-TESE (顕微鏡下精巣内精子回収法)の特徴

特徴
1

手術は日帰りが可能です

エス・セットクリニックでのMD-TESEは、1時間半程度の日帰り手術となります。土曜日（または金曜日）に手術を行い、週明けの月曜日からは仕事に復帰することが可能です。

特徴
2

手術経験豊富な医師が手術を担当

手術経験豊富な医師が執刀いたします。初診から手術まで責任をもって治療にあたります。

特徴
3

精子凍結融解技術を活かし、
レディースクリニックへの
持ち込みが可能

TESEの最大の問題点である、採取してから使用するまでの精子が受ける酸化ストレスを様々な精子保護技術で極力抑えます。特に、凍結融解の過程で受ける精子のダメージを最小限にする技術を臨床応用しています。主治医の許可が得られれば、どちらのレディースクリニックにも凍結精子を持ち込みすることが可能です。

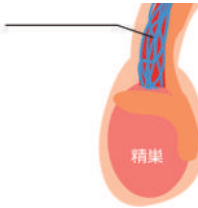


男性不妊の原因に多い 精索静脈瘤とは？

精索静脈瘤は、精巣の静脈が逆流してこぶ状に肥大する病気で、男性不妊患者の約4割に認められるともいわれ、男性不妊の原因の代表的なものの一つです。エス・セットクリニックで男性不妊一般検査を受診した方にも48%に精索静脈瘤が確認されています。程度の軽い精索静脈瘤であれば、痛みや違和感を自覚することがないため、日常生活を送る上では何ら問題はないともいえますが、精索静脈瘤がある場合、血流が滞ることにより精巣の温度が上昇し、精子にとっての適温である32～35度程度の範囲を大きく超えてしまいます。この場合、いわば常に精巣を温めているような状態となり、精巣機能を著しく低下させてしまいます。

精索静脈

こぶができてしまうと温められた血液が精巣に逆流してしまいます。



改善すれば 自然妊娠も可能？

治療は、程度によって漢方薬などによる薬物療法から外科的手術などの方法があり、これらの治療により改善するケースが多くみられます。女性に不妊原因がなければ30%以上で自然妊娠も可能だという報告もあります。



精索静脈瘤手術の特徴

特徴 1

傷口が小さくて済む『低位結紮術』という術式を用います

精索静脈瘤手術の術式は複数ありますが「顕微鏡下精索静脈瘤低位結紮術」という術式を用います。この術式は、手術による傷口が小さくて2cm程度で済みます(高位だと4cm程度)。また患者さんに合わせて、局所麻酔を独自のノウハウで使用します。できるだけ少量の麻酔で手術を終わらせるため、回復も早く体への負担を軽減することができます。

特徴 2

最新の医療機器を用意しています

効果の高い手術を確実に行う為に、手術用顕微鏡や、血流の確認に用いる超音波血流計など、同手術においてはハイスpekともいえる、最新の医療機器を用意しています。

またTESE同様、手術経験豊富なドクターが2名執刀し、動脈やリンパ管をしっかりと残しながら、一つ一つもれなく静脈を結紮するため、片側の場合、手術時間は1時間程度で、日帰り手術となります。土曜日に手術を行い、週明けの月曜日からは仕事に復帰することが可能です。



Profile プロフィール

佐々木 豊和 院長

愛媛大学卒業
愛媛大学非常勤講師

- 日本泌尿器科学会指導医
- 日本透析医学会専門医
- 日本生殖医学会会員

